

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

| | 単位 | 2024/12/31 | 2025/9/30 | 2025/10/10 | 過去3年高値 | | 過去3年安値 | |
|------|----|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | | (前年末) | (前月末) | (前週末) | 水準 | 日付 | 水準 | 日付 |
| 日経平均 | 円 | 39,894.54 | 44,932.63 | 48,088.80 | 48,597.08 | 2025/10/9 | 25,661.89 | 2023/1/4 |
| NYダウ | ドル | 42,544.22 | 46,397.89 | 45,479.60 | 47,049.64 | 2025/10/3 | 28,660.94 | 2022/10/13 |
| 円/ドル | 円 | 157.20 | 147.90 | 151.19 | 161.95 | 2024/7/3 | 127.23 | 2023/1/16 |

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 自民党高市新総裁による財政拡大期待や米国株高などを背景に上昇～

先週の日本株市場は、日経平均が+2,319.30円 (+5.07%)、TOPIXが+68.42ポイント (+2.19%) となり、自民党高市新総裁による財政拡大期待や米国株高などを背景に上昇しました。業種別でみると非鉄金属、機械、電気機器などの21業種が上昇した一方で、パルプ・紙、倉庫・運輸関連業、海運業などの12業種が下落しました。

10月4日に行われた自民党総裁選で、積極的な財政出動と金融緩和政策を掲げている高市前経済安全保障相が新総裁に選ばれました。当初、小泉農相が有力とみられていましたが、高市氏が選ばれたことから、財政拡大期待などを背景とした株高・円安が進行する「高市トレード」の動きが強まり、6日は大幅上昇しました。7日は、今後の政局運営に対する不透明感から様子見姿勢が強まったものの、前日に米国株市場が上昇したことが好感され、続伸となりました。8日は為替が円安進行したことを受けて輸出関連銘柄を中心に買いが広がったことなどから、9日は前日の米国株市場がハイテク株中心に上昇したことを受け、半導体関連銘柄中心に買いが広がったことから、それぞれ上昇し5日続伸となりました。10日は、自民党と公明党の連立協議を巡る不透明感が高まったことなどから、6日ぶりに反落して引けました。

3. 今週の主な予定

| 日程 | 曜日 | 国・地域 | 項目 | 期間 | 前回 |
|--------|-----|------|-----------------------------|-----|---------|
| 10月14日 | Tue | ドイツ | ZEW期待指数 | 10月 | 37.3 |
| 10月15日 | Wed | 中国 | CPI(消費者物価指数)(前年比) | 9月 | ▲0.4% |
| | | 欧州 | 鉱工業生産(前月比) | 8月 | +0.3% |
| | | 米国 | ニューヨーク連銀製造業景気指数 | 10月 | ▲8.7 |
| 10月16日 | Thu | 日本 | 米地区連銀経済報告(ベージュブック)公表 | | |
| | | | 機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比) | 8月 | ▲4.6% |
| | | | 第3次産業活動指数(前月比) | 8月 | +0.5% |
| | | | 小売売上高(除自動車)(前月比) | 9月 | +0.7% |
| | | | フィラデルフィア連銀製造業景況指数 | 10月 | 23.2 |
| 10月17日 | Fri | 日本 | PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比) | 9月 | +2.8% |
| | | 米国 | 内田日銀副総裁、全国信用組合大会であいさつ | 9月 | 130.7万件 |
| | | | 鉱工業生産(前月比) | 9月 | +0.1% |

注意: 米国の政府機関の一部閉鎖に伴い、米国経済指標の発表日が変更になる可能性があります。

| 決算発表予定 | 国内 | 決算発表 | 10/14 イオン 10/15 東宝 |
|--------|----|------|---|
| 他 | 海外 | 決算発表 | 10/14 ブラックロック、ジョソフ・エンド・ジョン、ウェルズ・ファーゴ、JPMorgan、ゴールドマン、シティグループ、サムスン電子 10/15 パンク・オブ・アメリカ、モルガン・スタンレー、ユナイテッド、ASMLホールディング 10/16 インフォシス、TSMC 10/17 アメックス、ホルボ |

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 日米の政治的不透明感を背景に、方向感の乏しい展開～

今週の日本株市場は、日米の政治的不透明感を背景に、方向感の乏しい展開を予想します。

先週の日本株市場は、自民党新総裁の高市氏が新首相に就任することを前提に、同氏の財政・金融政策への期待から史上最高値まで押し上げられました。ただし、先週末の10日に自民党と公明党の連立解消が報じられたことに加えて、立憲民主党と日本維新の会、国民民主党の3党幹事長が本日(14日)会談すると伝わり、高市首相誕生に対する不透明感が強まり、日本株市場は高値から調整しています。現時点では野党間の政策の隔たりが大きいことなどから政権交代はリスクシナリオで、政策ごとにも野党に閣外協力を求める自民党による少数与党政権が成立するとみられています。為替の円安進行や日本国債市場のスティープ化も含めた「高市トレード」の巻き戻しが警戒されるものの、野党も財政拡大的な政策を志向していることから一定の政策期待は維持されるとみえており、しばらくは政局を見据えた方向感の乏しい展開が続くと想定します。また、米国における政府閉鎖の状況や対中貿易交渉の行方など、米政治動向にも注意が必要とみえています。その他の注目材料として、日本では16日の機械受注、米国では15日のニューヨーク連銀製造業景気指数、ベージュブック、欧州では15日の鉱工業生産、ドイツでは14日のZEW期待指数、中国では15日のCPIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント

URL: <https://www.alamco.co.jp>

商号等 : 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。))が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。